



ベイシス株式会社

個人投資家向け会社説明会

証券コード：4068



IRメール配信登録

<https://www.magicalir.net/4068/mail/index.php>

2022年11月

- 1 ベシスは2000年創業の独立系エンジニアリング会社
5GやIoTのインフラ構築・運用保守を行っている
- 2 他の通信建設会社とは違うポジションでテクノロジー活用を強みとしている
- 3 2022年6月期は売上高、営業利益共に過去最高
- 4 モバイル3兆円、IoT2兆円と共に市場規模は巨大

会社概要





代表取締役社長

吉村 公孝

KIMITAKA

YOSHIMURA

1972年、広島県生まれ。

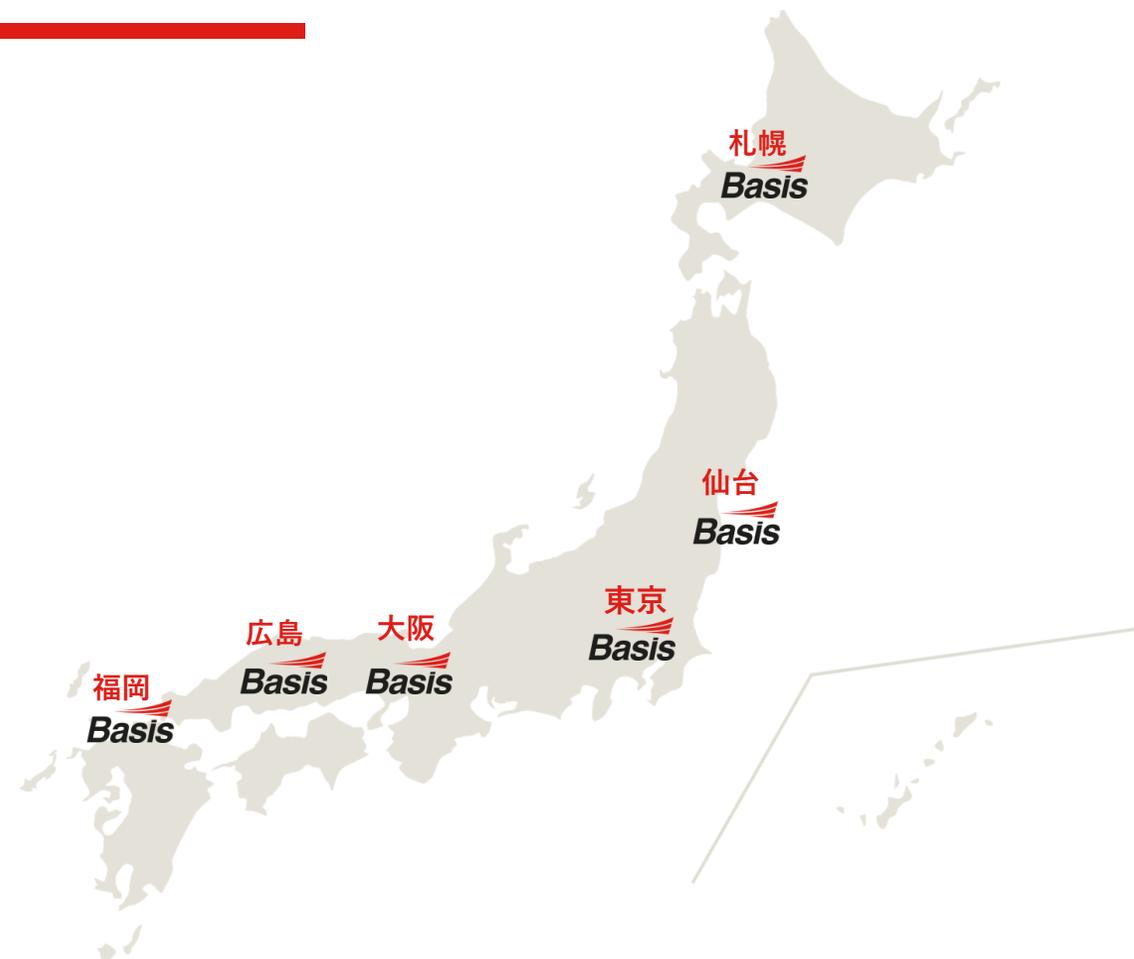
岡山理科大学工学部卒業後、通信エンジニアリングサービス事業を行う企業に就職。

1996年に個人事業主として独立。

2000年7月法人化（現ベシス株式会社）。

創業22年の独立系エンジニアリング会社

会社名	ベイス株式会社
設立	2000年（平成12年）7月19日
代表者名	代表取締役社長 吉村 公孝
資本金	331,874千円
本社	東京都 品川区
事業拠点	札幌、仙台、東京、大阪、広島、福岡
従業員数	340名（2022年6月30日現在）
決算期	6月
事業内容	インフラテック事業



Mission

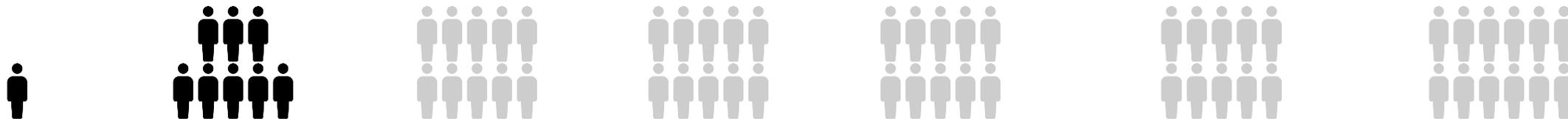
ICTで世の中をもっと便利に

Vision

Update The World

変化し、変化させ、必要不可欠な会社に

第1成長期 全国へ拠点拡大 (2000年～2007年)



2000

2007

2011

2015

2019

2020

2021

2000年

7月 広島にて創業

モバイルエンジニアリング
サービスを開始



2006年

4月 東京都品川区に本社移転

10月 仙台支店を設立

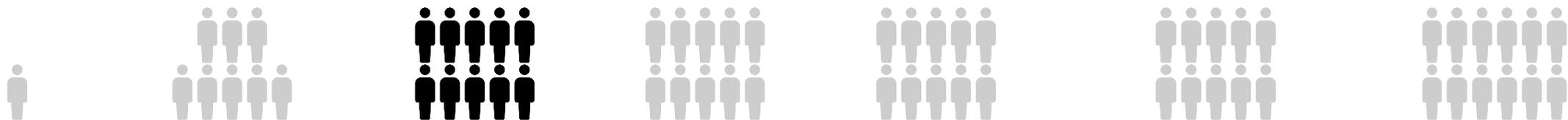
11月 福岡支店を設立

2007年

3月 大阪支店を設立

7月 札幌支店を設立

第2成長期 携帯キャリアと直取引開始（2011年）



2000

2007

2011

2015

2019

2020

2021

 SoftBank

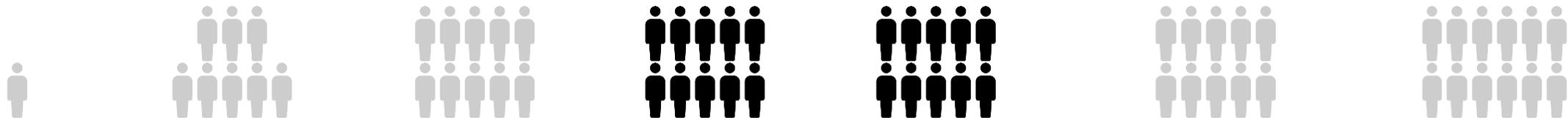
Tomorrow, Together




2011年

ソフトバンク社との取引が本格開始し、
それに伴い各キャリアと直接取引を開始

第3成長期 IoTエンジニアリング開始、テクノロジーの活用（2015年～2019年）



2000

2007

2011

2015

2019

2020

2021

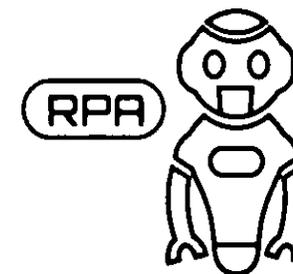
2015年

東京電力パワーグリッド社との取引開始

IoTインフラ・ネットワーク構築・運用保守など、
IoTエンジニアリングサービスを開始

2018年

RPAツール販売を開始



東京証券取引所マザーズ上場 さらなる成長へ（2020年～2021年）



2000

2007

2011

2015

2019

2020

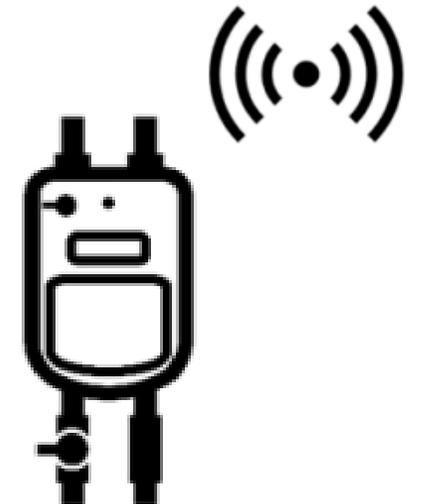
2021

2020年

ガススマートメーター設置取引本格開始

2021年

東京証券取引所マザーズ（現グロース）上場



事業内容



5G IoT

ベシスは、最先端をあたりまえにし、
「超スマート社会」を創り支える会社です。



デジタル社会をインフラで支える 「インフラテック事業」

INFRASTRUCTURE



TECHNOLOGY

通信インフラ構築における
ノウハウ・スキル

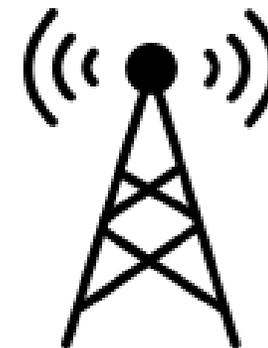
独自開発ツール、RPA, AIなどの
最新テクノロジーの活用

MOBILE ENGINEERING

モバイルエンジニアリングサービス

携帯電話やWi-Fiなど、通信キャリアから発注されている
エンジニアリング業務

- 無線基地局工事、運用保守
- 各種プロジェクト支援



全国20万ヶ所以上のキャリアWi-Fi構築

モバイルエンジニアリングサービス

「つながる」の仕組みを支えるベイシスの役割



「つながる」仕組みを支える仕事



新しい基地局を建設する

通信施工会社の得意領域



アラートが上がっている基地局を遠隔操作する
基地局のソフトウェアをアップデートする

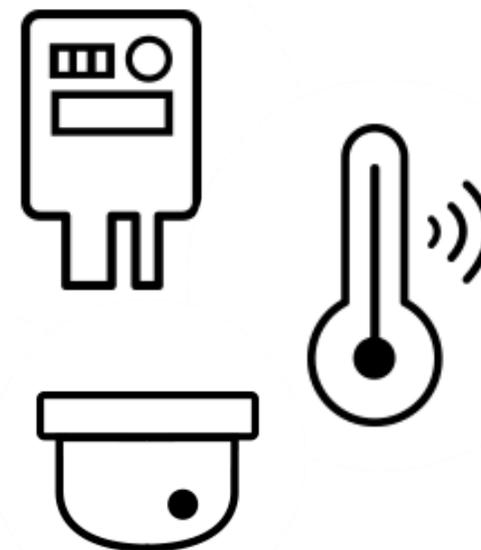
ベイシスの得意領域

IoT ENGINEERING

IoTエンジニアリングサービス

IoTに関するエンジニアリング業務

- IoTネットワークの構築
- IoT機器の設置、運用保守等



電力スマートメーター設置台数**150万台以上**

IoTエンジニアリングサービス

IoT普及における課題とベイシスの施工DX

IoT機器メーカーに勤める営業担当者への調査※

IoTメーカーの「設置」に関する 実態調査サマリー

IoT機器の設置業務や設置オペレーションにおいて、
72.6%が課題を実感

設置業務の課題を実感している**81.1%**が、
課題のために契約に至らず

設置業務における複数の外部パートナーとの
やりとりにおいて、**29.4%**が「コスト」、
20.6%が「管理」に課題の声

課題への
ソリューション
を提供

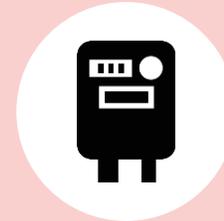


ベイシスの施工DX



自社システム

自社システムによる効率的な工程管理、
物品管理、業者管理を実現



豊富な設置実績

スマートメーター、ビーコン、AIカメラ
等各種IoT機器の設置実績によりあらゆる
機器設置に対応



全国対応

全国に広がるパートナー網により広域か
つ大量設置の対応が可能

※ 調査概要：IoTメーカーの「設置」に関する実態調査
調査方法：IDEATECHが提供するリサーチPR「リサビー」の企画によるインターネット調査
調査期間：2022年6月16日～同年6月19日
有効回答：IoT機器メーカーに勤める営業担当者102名

IoTエンジニアリングサービス

当社の対応実績例

スマートメーター (約150万台)



HACCP (約1,000台)



スマートロック (約6000台)



ビーコン (約40か所)



NCU (約45万台)



カメラ (約300台)



積雪センサー (12箇所)

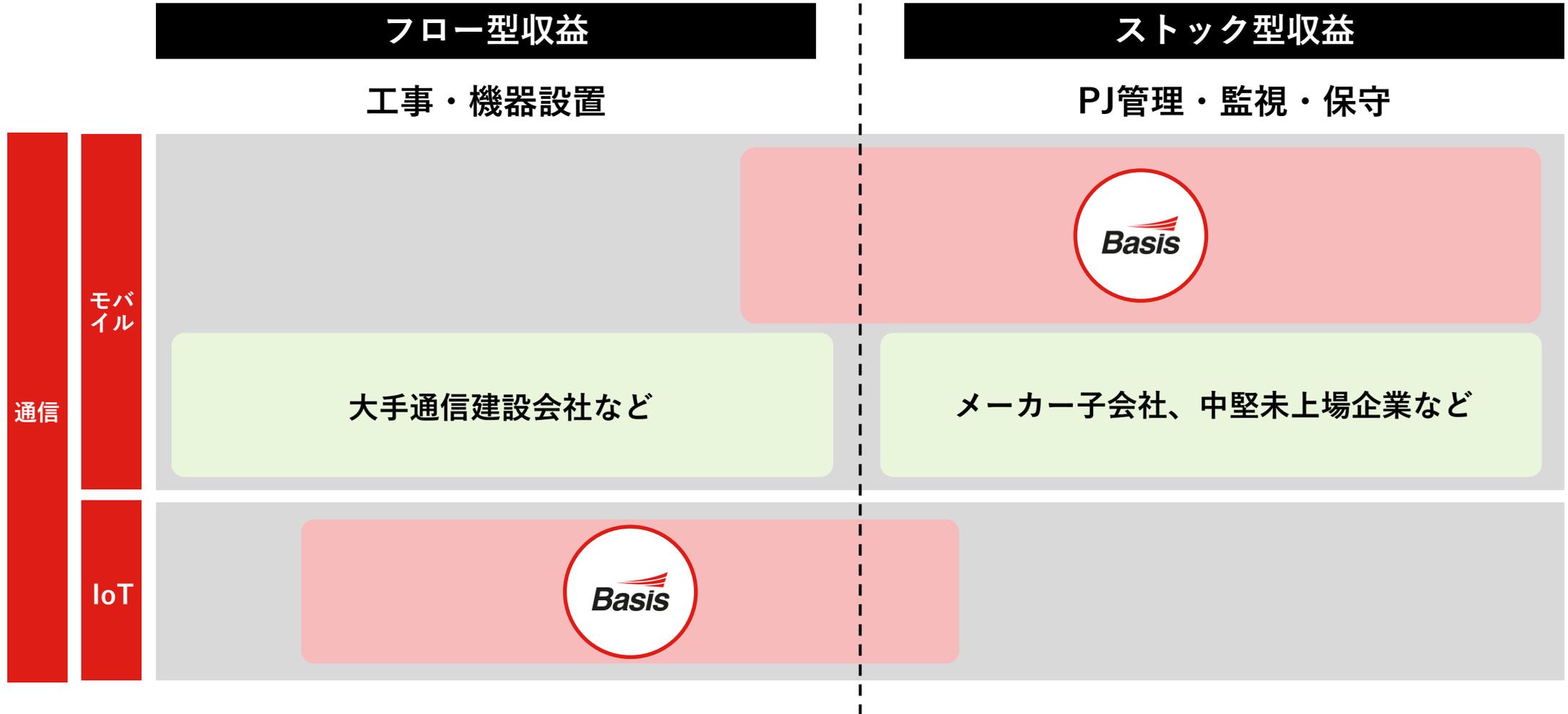


LPWA (約30か所)



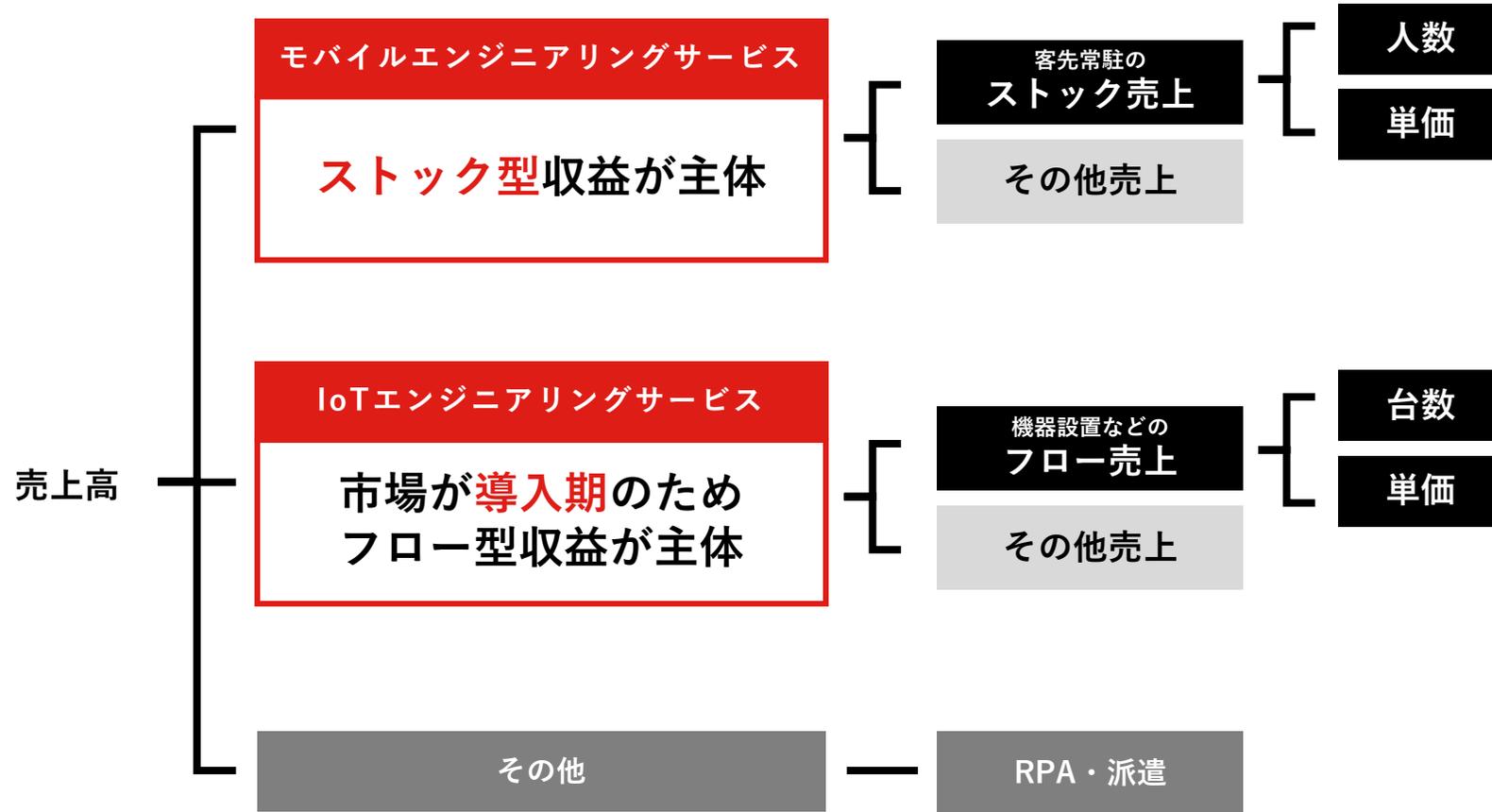
通信工事会社との違い

通信工事各社とは得意領域が異なり、ビジネス上競合することが少ない



収益構造と重要指標 (KPI)

フロー型とストック型収益の両輪で、安定的かつ持続成長可能な収益構造を構築
 特にモバイルのストック売上およびIoTのフロー売上の最大化を重視し、重要指標を設定



主要お取引先企業一覧



移動体通信

 SoftBank



Tomorrow, Together




エネルギー



東京電力パワーグリッド

 NICIGAS

 YAZAKI



メーカー









その他



アイリスオーヤマ



Internet Initiative Japan



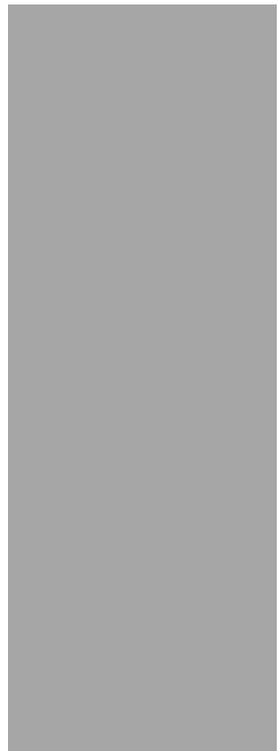
weathernews

2022年6月期決算概要



6,264 百万円

4,894 百万円



2021年6月度

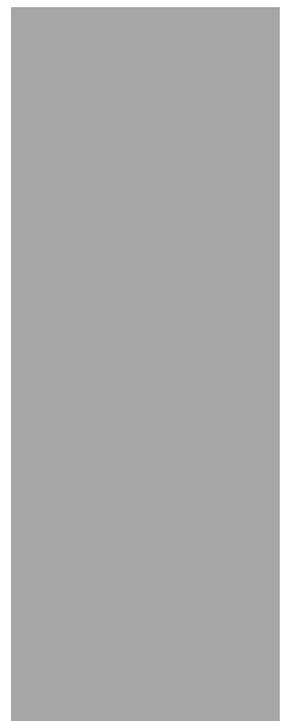
2022年6月度

過去最高売上
達成

(前年比 128.0%)

4,892 百万円

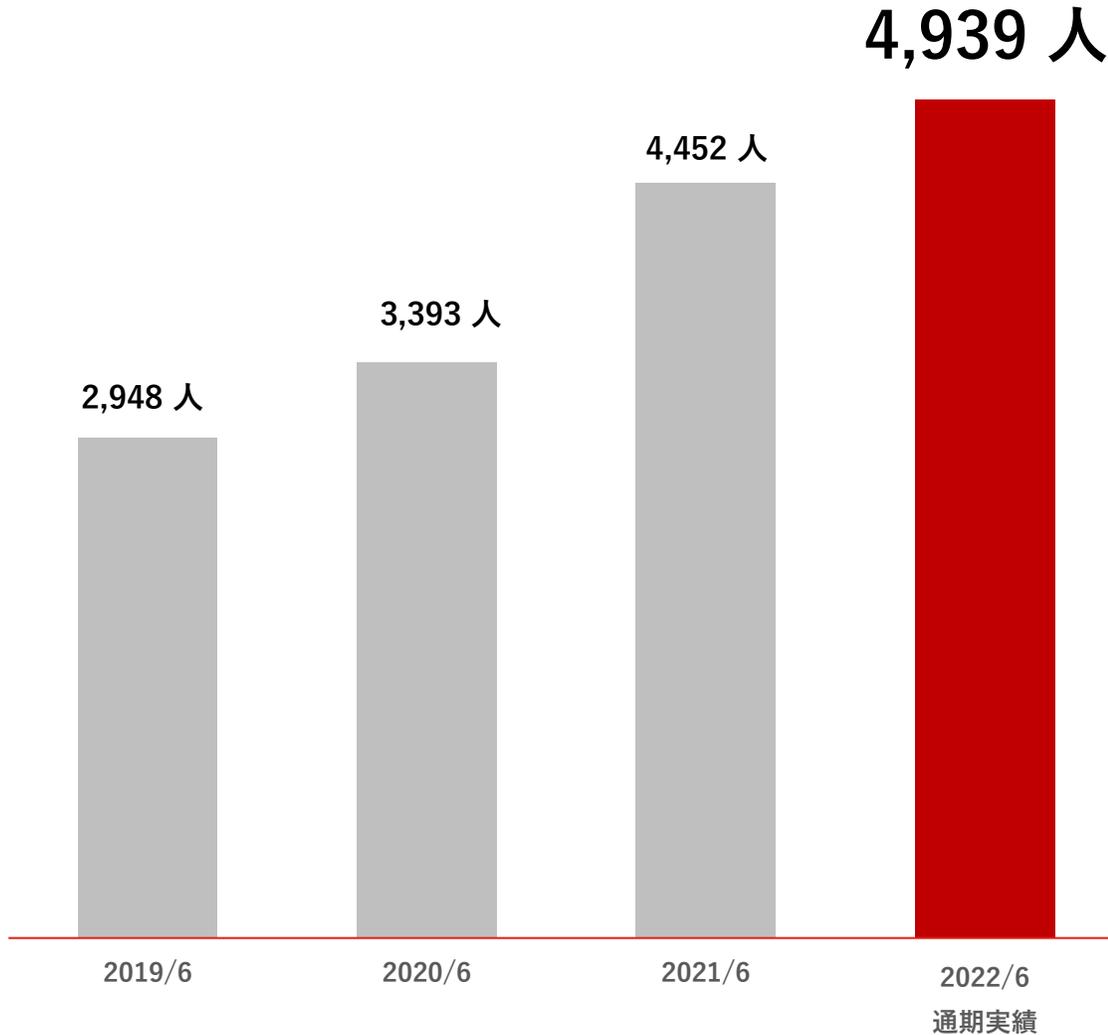
4,019 百万円



2021年6月度

2022年6月度

前年比
+8.73 億
(前年比 121.7%)



稼働人員数

前期比

+487人

1,165 百万円

611 百万円

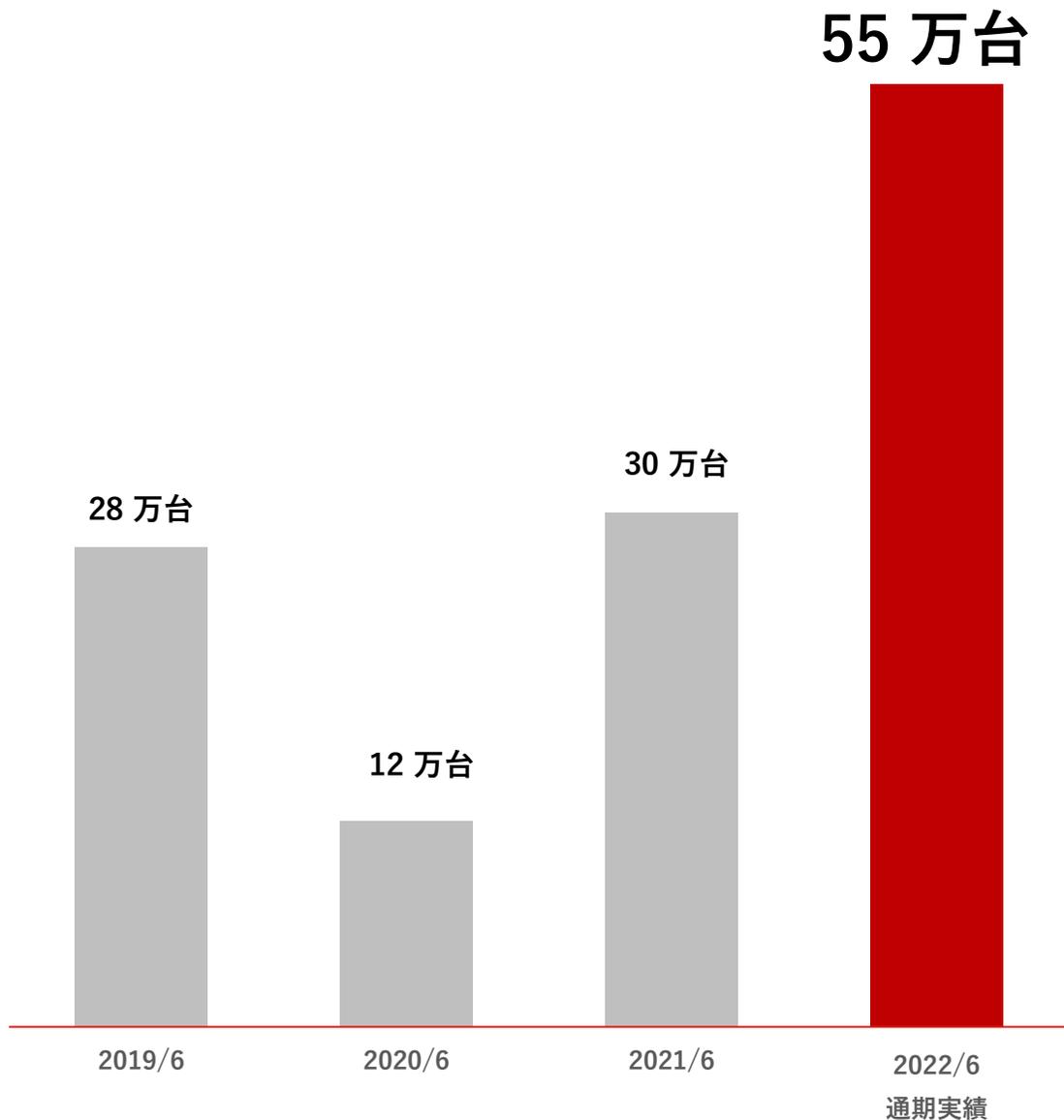


2021年6月度

2022年6月度

機器設置台数増加により
増収

(前年比 190.6%)



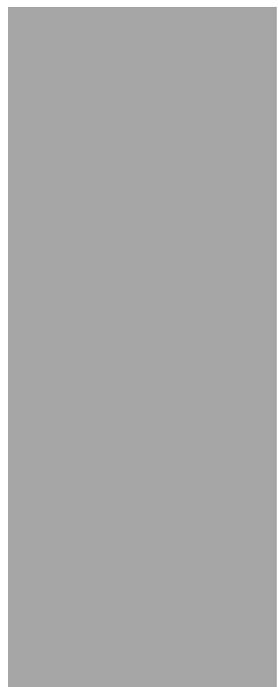
IoT機器設置台数

前期比

+25万台

490 百万円

383 百万円



2021年6月度

2022年6月度

過去最高益
達成

(前年比 127.7%)

売上・利益共に過去最高

単位：百万円

	2021年6月期	2022年6月期	増減額	前年同期比
売上高	4,894	6,264	+ 1,370	128.0%
営業利益	383	490	+ 107	127.7%
当期純利益	238	324	+ 86	136.2%

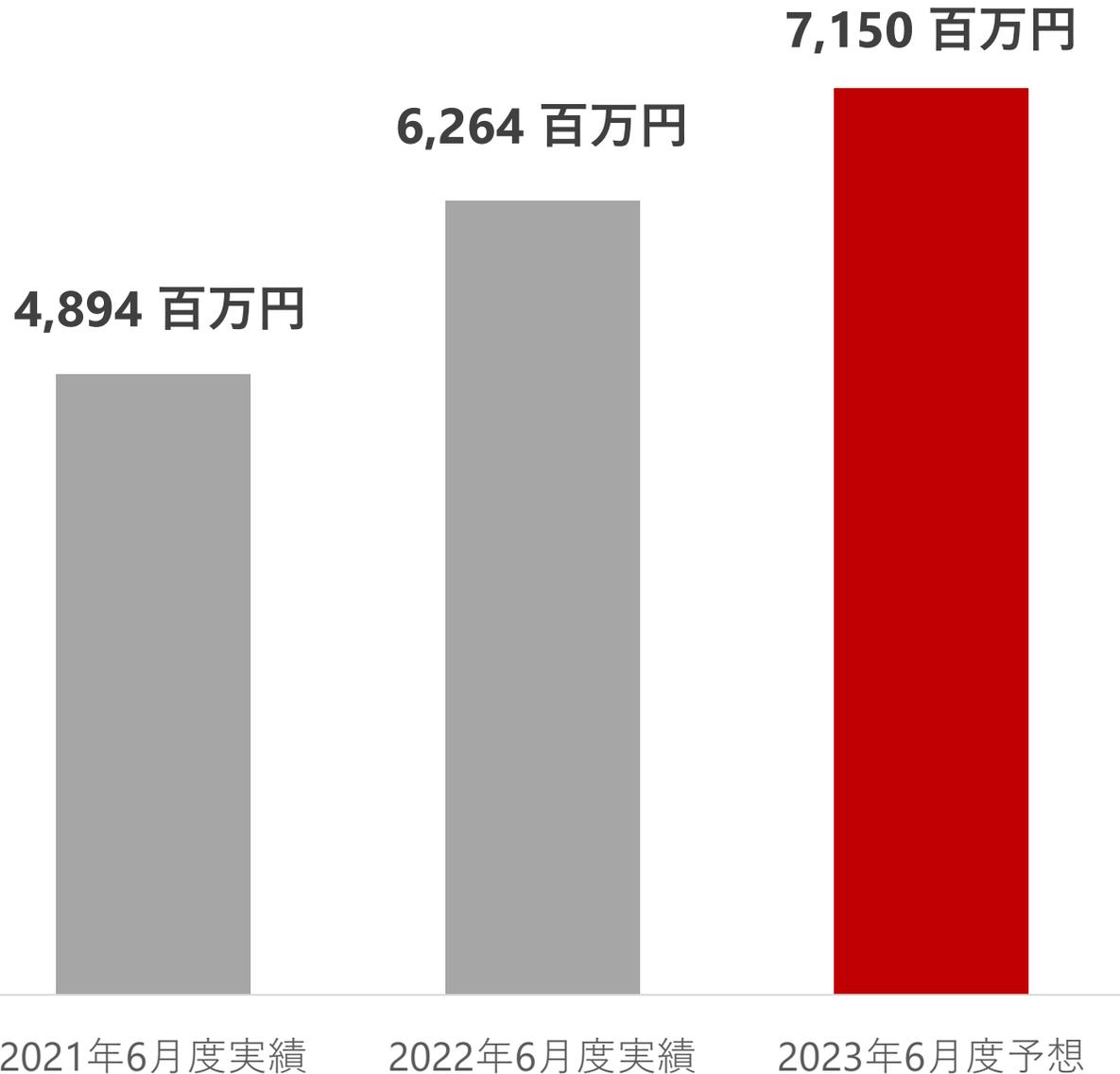
期初見通しを上回って着地

単位：百万円

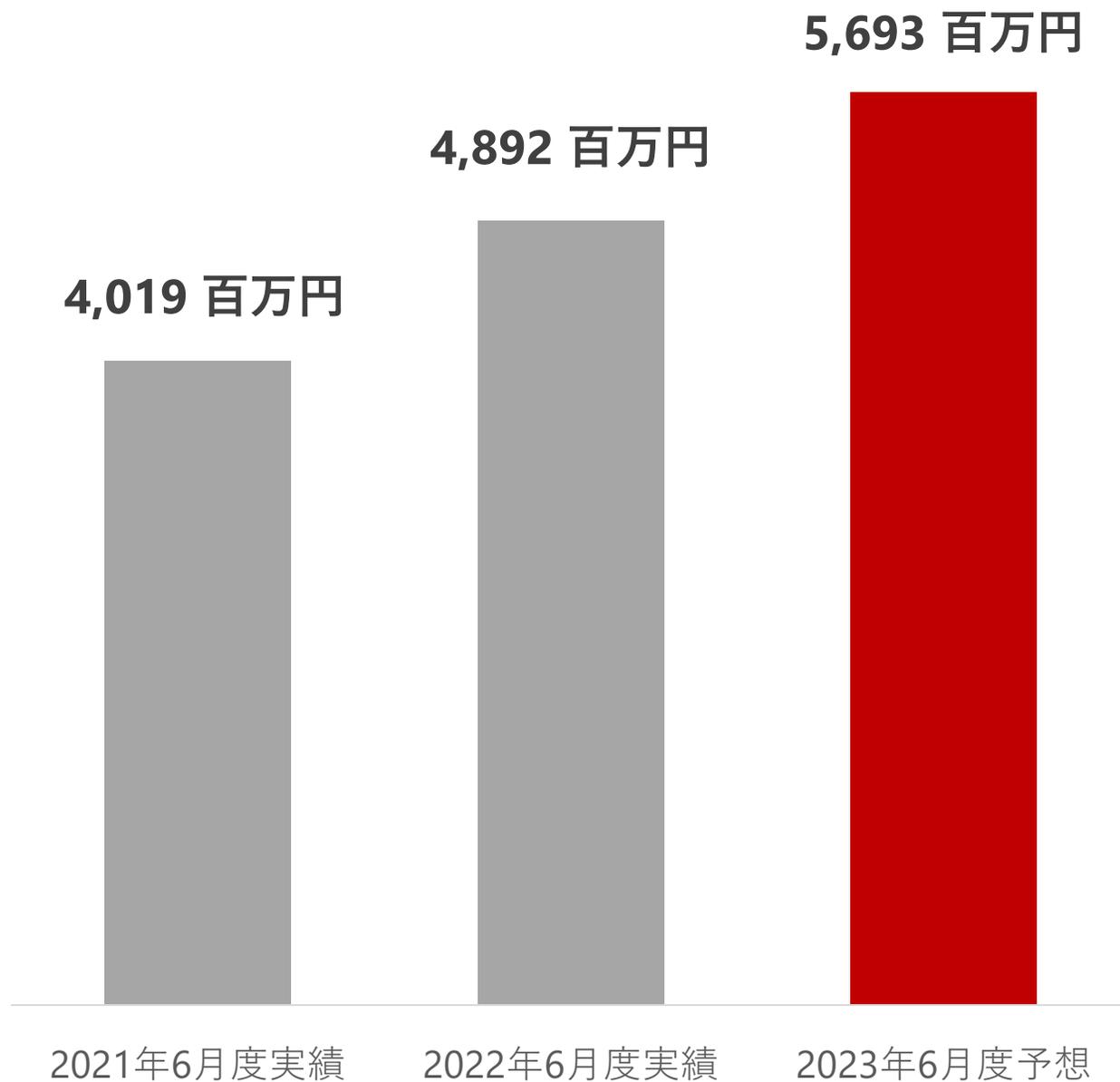
	期初見通し	実績	増減額	達成率
売上高	5,941	6,264	+ 323	105.4%
営業利益	445	490	+ 45	110.0%
当期純利益	277	324	+ 47	117.2%

2023年6月期 業績見通し

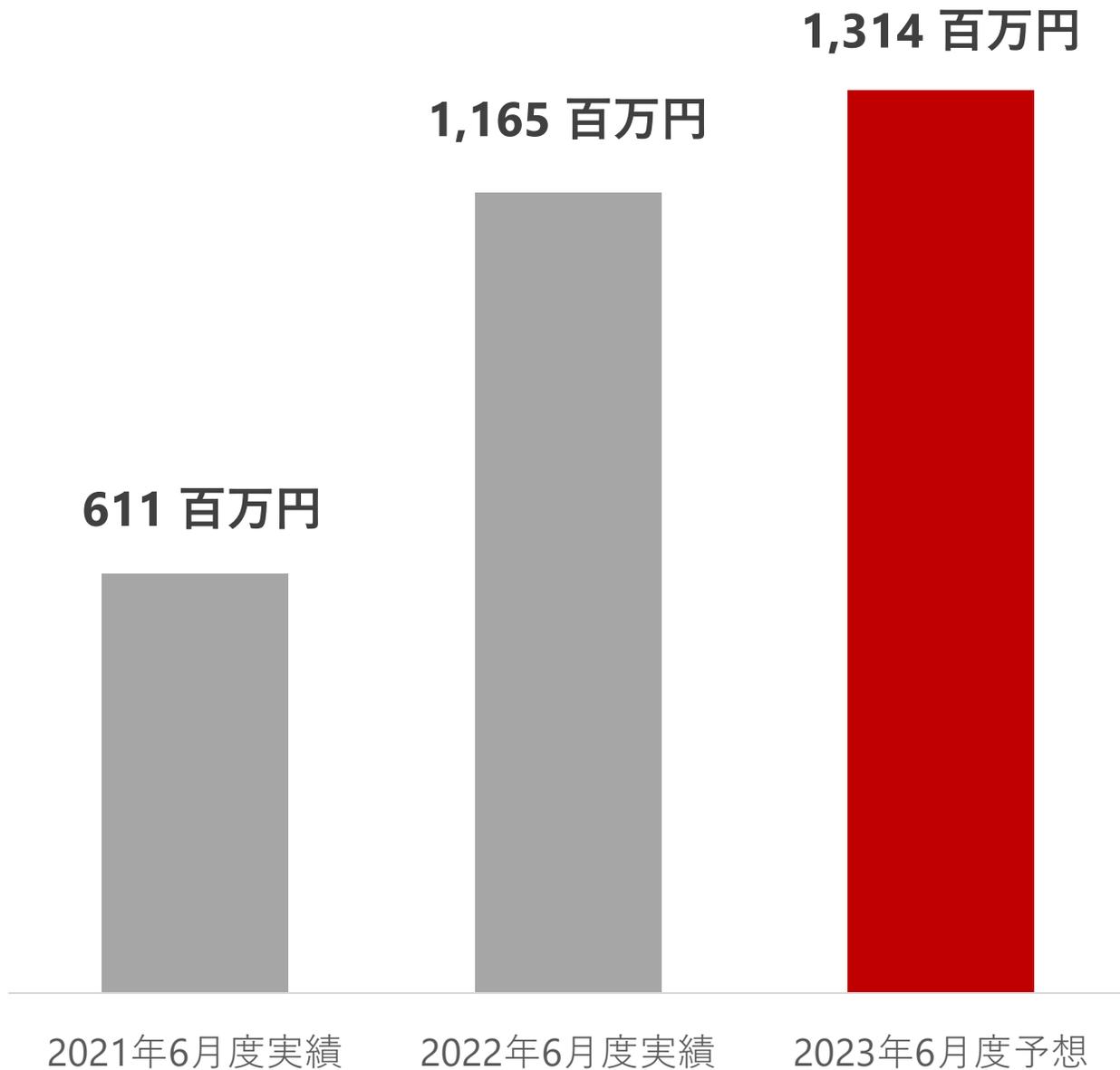




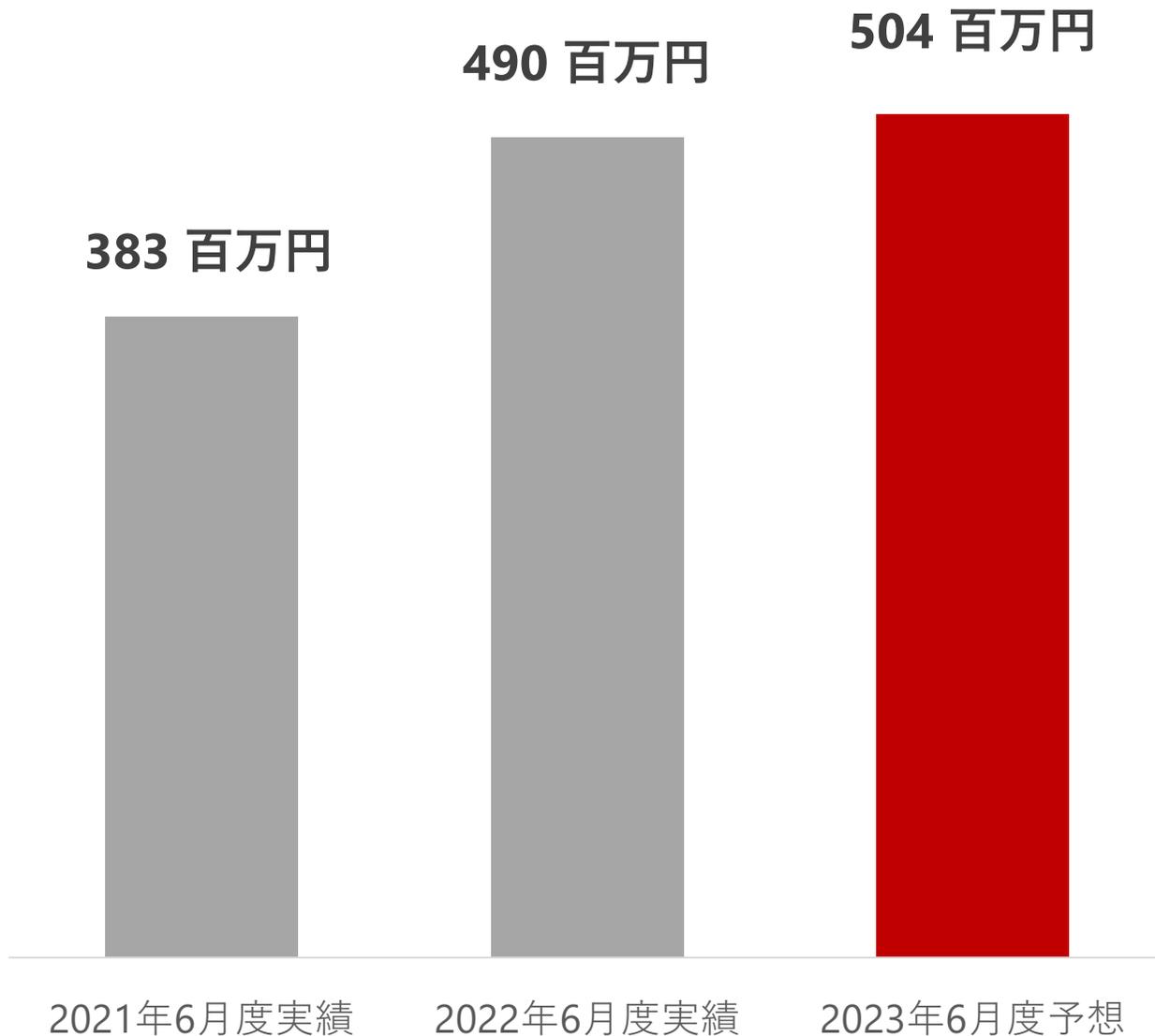
2023年6月度予想
売上高
71.5億円
(前年比 114.1%)



前年比
+8.01 億



前年比
+1.49 億



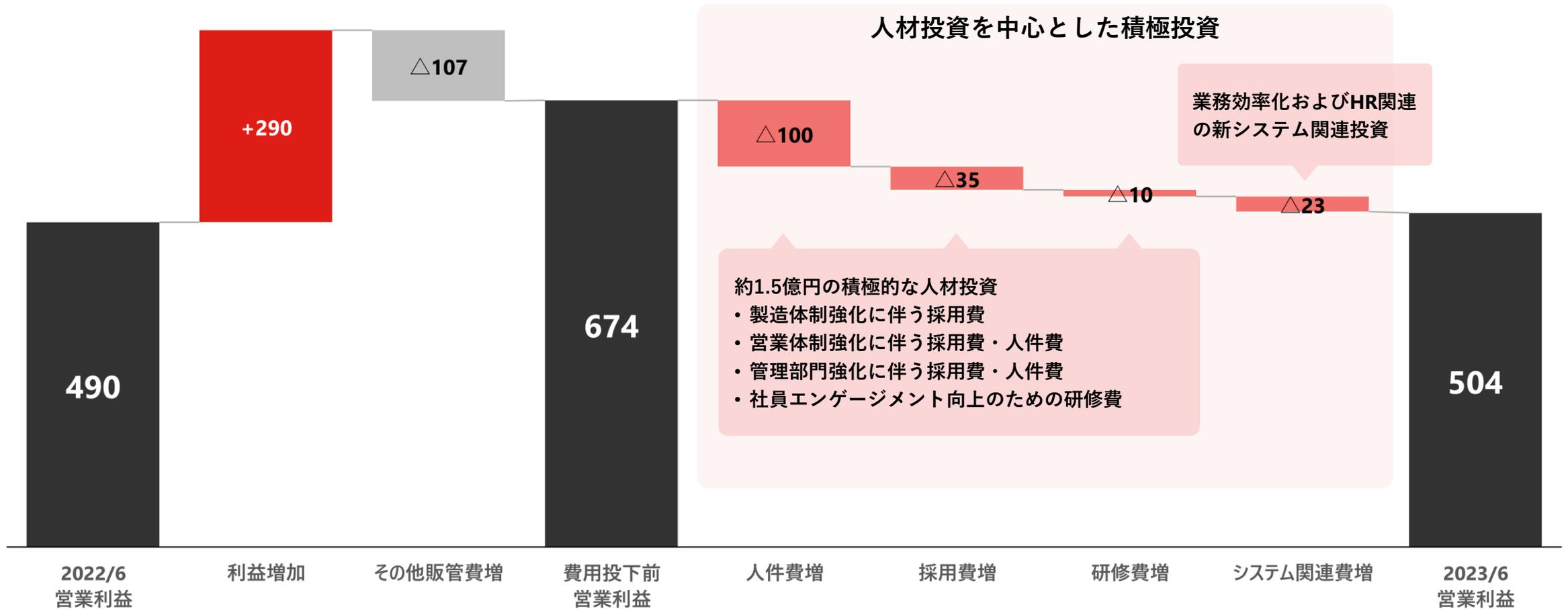
2023年6月度予想
営業利益
5.04億円
(前年比 103.0%)

2023年6月期の重要施策

中長期的な成長に向け、人材投資を中心に戦略的に追加投資を実施

今期集中的に投資を行うことで営業強化と業務効率化を図りつつ、営業利益5億円（前期比103%）を見込む

（単位：百万円）



2023年6月期 業績予想（前年対比）

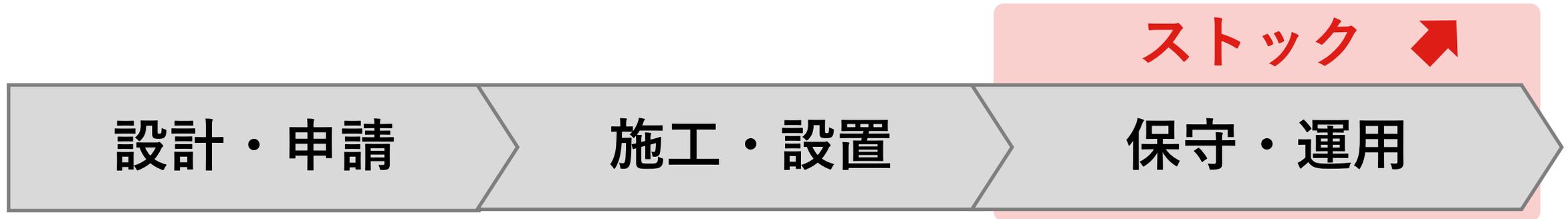
単位：百万円

	2022年6月期	2023年6月期	増減額	前年同期比
売上高	6,264	7,150	+ 886	114.1%
営業利益	490	504	+ 14	103.0%
当期純利益	324	309	- 15	95.3%

単位：百万円

	2022年6月期 1Q実績	2023年6月期 1Q実績	増減額	前年同期比
売上高	1,502	1,574	+ 72	104.8%
営業利益	151	94	- 57	62.1%
当期純利益	96	58	- 38	61.1%

モバイルエンジニアリングサービス

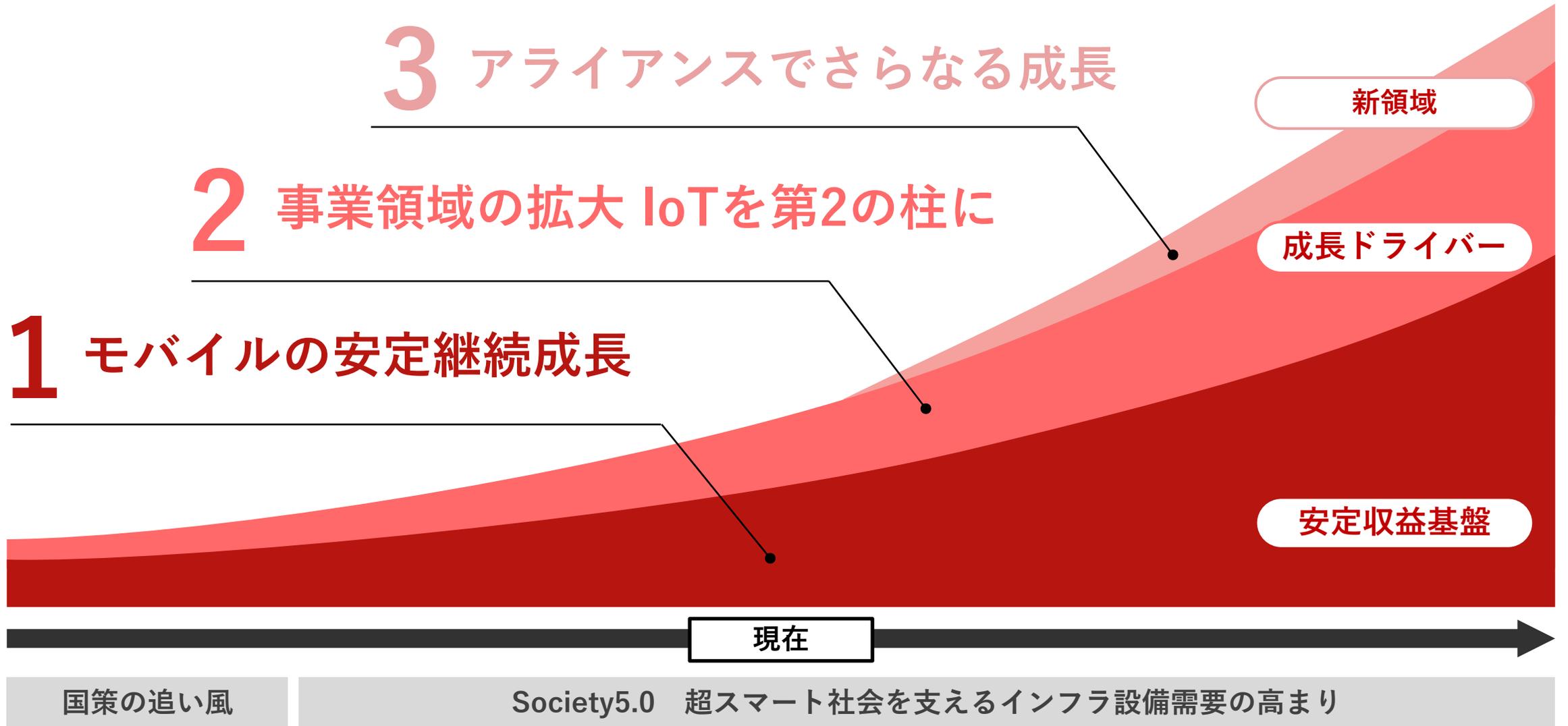


IoTエンジニアリングサービス



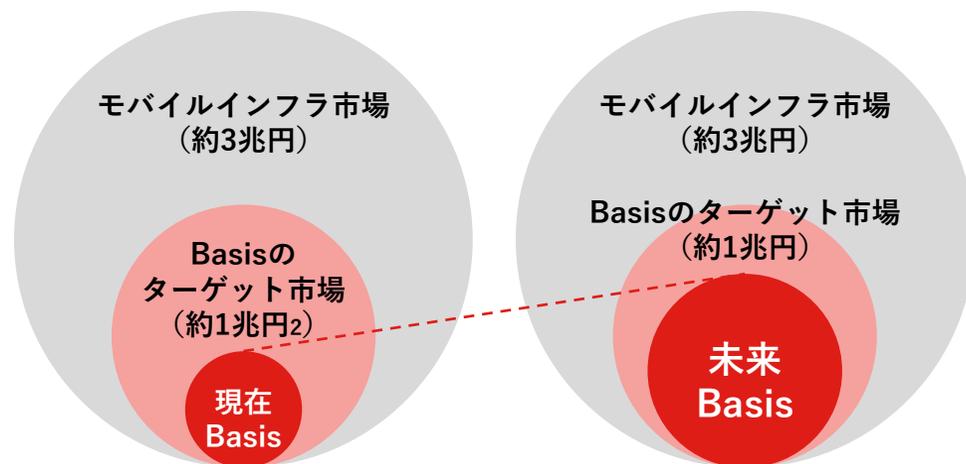
中長期成長戦略





モバイル (成熟市場)

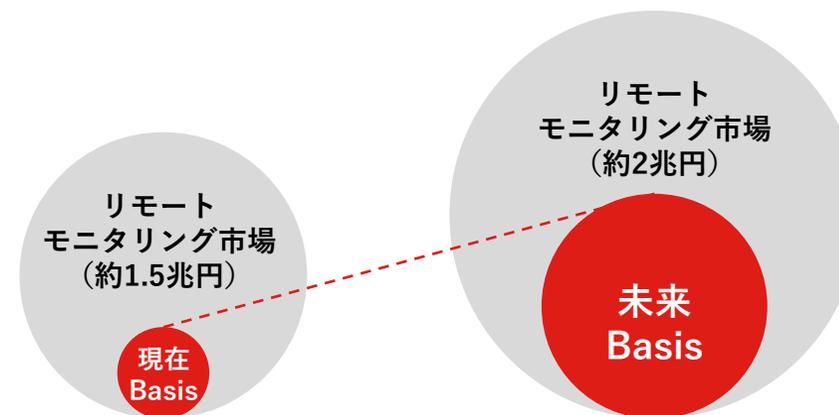
奪え戦略 (市場浸透戦略)



5G時代の新たなインフラ構築・運用保守のシェアを拡大

IoT (成長市場)

伸ばせ戦略 (新市場開拓戦略)

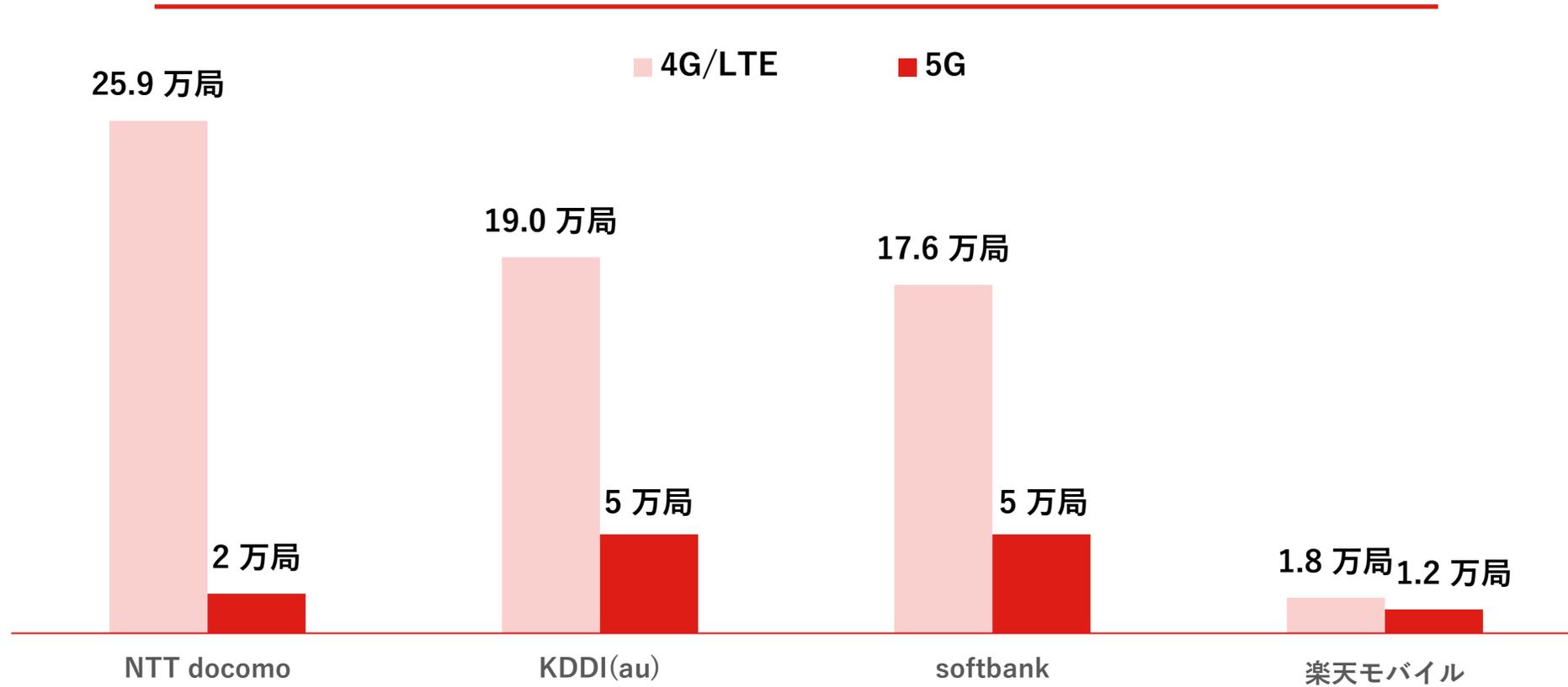


今後急成長が予測されるIoTインフラ構築・運用保守市場の拡大に合わせ業績を拡大

堅調に続く5Gモバイルインフラ構築

4G基地局と同程度の基地局数を目指すとなると、引き続き5Gインフラ構築は続く見通し

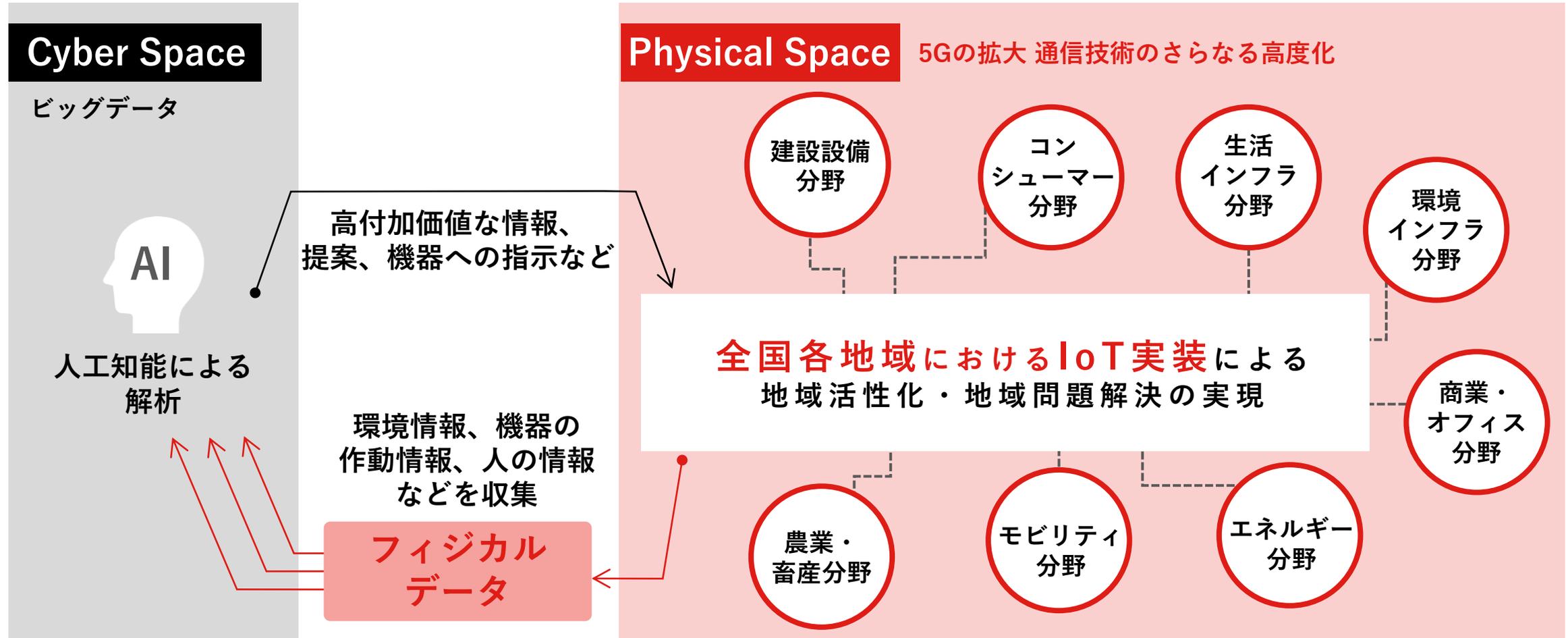
通信キャリア各社の4G基地局数と5G基地局計画



※ 4G/LTEの基地局数について令和3年度調査結果より、5G基地局数については各キャリアの発表数字より引用。

Society5.0を背景にあらゆる産業分野において各種通信、IoT機器の設置需要は急増

サイバー空間とフィジカル空間をつなぐ5Gの拡大と、各種IoT機器設置によるインフラ基盤の拡大
そして、安定運用が「当たり前」の世界に。その「当たり前」をベシスが創り、支える



IoT リモートモニタリングサービス市場

主力分野 実績あり 実績なし

建物設備分野	エレベーター	空調設備	発電設備	ボイラ	監視カメラ	UPS	機械警備	工作機械	AED	建物
エネルギー分野	太陽光発電	風力発電	自家発電機	定置用蓄電池	プラント					
生活インフラ分野	電カスマートメーター	ガスメーター	水道メーター	産業排水	マンホールポンプ	ゴミ箱				
環境インフラ分野	水質	橋梁	気象							
商業オフィス分野	冷凍・冷蔵ショーケース	自動販売機	コインパーキング	デジタルサイネージ	POS					
モビリティ分野	自動車 (位置情報)	タクシー配車	建機	物流トラック	物流パレット					
コンシューマ分野	住宅	ホームセキュリティ	ウェアラブルデバイス							
農業・畜産分野	農作物・栽培環境	農業機械	家畜							

IoT

モバイル

通信	4G	Wi-Fi5	5G	ローカル5G	Wi-Fi6
----	----	--------	----	--------	--------

Mobile

- 1 ベイシスは2000年創業の独立系エンジニアリング会社
5GやIoTのインフラ構築・運用保守を行っている
- 2 他の通信建設会社とは違うポジションでテクノロジー活用を強みとしている
- 3 2022年6月期は売上高、営業利益共に過去最高
- 4 モバイル3兆円、IoT2兆円と共に市場規模は巨大



Basis